

令和7年度 MHPSS 研修 開催要綱

1. 本研修の役割

日本赤十字社（以下、日赤）における緊急時の活動では、診療所の運営、巡回診療、また、中長期につながる地域保健活動に加え、昨今は精神保健・心理社会的支援（以下 MHPSS : Mental Health and Psychosocial Support やこころのケア）活動も同時に展開することが期待されている。また、緊急フェーズの後も MHPSS 活動を含む継続的な支援が必要なことも多い。

本研修は、MHPSS 要員となるための対面型基礎研修として位置づけられている。受講者は、研修終了後連盟等主催の MHPSS 関連研修の参加やトレーニー派遣によるステップアップが期待される。また、1 日目については、サイコロジカル・ファーストエイド（以下 PFA : Psychological First Aid）研修を兼ねており、MHPSS 分野のみならず国際活動を目指す幅広い要員に基礎的な技能として求められる PFA を学ぶ機会として受講が可能である。

2. 目的

サイコロジカル・ファーストエイド(PFA)の知識・スキルを身につけ、緊急時に限らず中長期にわたる心理社会的支援活動を MHPSS 要員として適切に提供する力を養う。

3. 目標

- (1) PFA の行動原則「みる」「きく」「つなぐ」を習得し、行動できる。
- (2) MHPSS 要員として、基本的な概念を理解し、現場の状況に合わせて計画立案・介入実施ができるようになる。

4. 内容

1日目 (PFA 研修を兼ねる)	2日目・3日目
<ul style="list-style-type: none">・PFA とは何か（導入）・ストレス反応・3つの行動原則（概要・演習）・セルフケア	<ul style="list-style-type: none">・国際赤十字における MHPSS の活動、役割・活動の実際（MHPSS in Emergency 研修内容に一部準拠）-アセスメント、プランニング、ケーススタディ（こどもにやさしい空間、スタッフ・ボランティアケア、現地スタッフトレーニング）、M&E・実際の活動経験の共有・心理教育/保護/グリーフ

5. 開催日程

1日目： 令和7年10月11日（土）9:00～17:00
2日目： 令和7年10月12日（日）9:30～17:30
3日目： 令和7年10月13日（月）9:00～16:30

6. 開催場所

日本赤十字社医療センター 3階講堂
(東京都渋谷区広尾 4-1-22)

7. 受講要件

参加日数別に以下を満たすものであり、各日最大 24 名。職種は不問（再受講等応相談）。

(1) 3日間参加

- a. ERU 研修/IMPACT を修了している または 今後受講予定
- b. 日赤こころのケア研修（国内救護研修） または同等の E-learning（例 IFRC Learning platform, [Public Health: Mental Health and Psychosocial Support](#)）を修了している
- c. 研修に全日程参加できること
- d. その他、MHPSS に関する研修に参加した経験があればなおよいが必須ではない

(2) 1日目のみ参加 (10/11)

ERU 研修/IMPACT を修了しているが、PFA 研修を受講していない
(EMT 最低基準として全 ERU 要員の PFA 研修受講が必須となっている)

(3) 2-3日目のみ参加 (10/12,13)

1日以上の PFA 研修（主催は問わない）を受講済みであり、MHPSS 要員としての活動を目指す

8. 申し込み

日本赤十字社医療センター国際医療救援部あて [申し込みフォーム](#)へ入力し申込みのこと



担当者 日本赤十字社医療センター 国際医療救援部 苦米地 則子/宮本 教子
連絡先 03-3400-0232 (内線 2382) imrd@med.jrc.or.jp

9. 申し込み期限

令和 7 年 9 月 5 日 (金)

10. 受講決定連絡

応募者多数の場合は、MHPSS に関する研修受講歴や志望動機等申し込み内容に基づき選考を行い、9 月 12 日 (金) までに所属施設担当者あて通知すること。

※研修会の運営上、定員各回 24 名程度とする。最少催行人数は 12 名とし、応募者がこれに満たない場合は開催を見合わせる可能性があること。

11. 事前必須学習

1 日目

- (1) [サイコロジカル・ファーストエイド \(PFA\) ガイド要約版](#)
- (2) [PFA とは、PFA の活動原則](#) (災害研究所作成動画) (9 分、14 分)
- (3) [心理的応急処置 フィールドガイド WHO 2011](#) 【参考資料】

2～3 日目

- (4) [The resolution](#) (動画) (3 分)
- (5) [MHPSS framework](#) (動画) (3 分)
- (6) [Funding Mechanisms : DREF and Emergency Appeal](#) (動画) (12 分)
- (7) [IFRC approach for Emergency Needs Assessments](#) (ビデオ) (5 分)

12. その他

- (1) 受講料及び教材費は無料。
- (2) 宿泊は各自で手配すること。
- (3) 研修参加にかかる旅費については、国際医療救援事業交付金の対象となり、おつて申請・充当すること。尚、同交付金の旅費の扱いについては、平成 26 年 9 月 30 日付人事第 445 号「本社招集旅費の取扱いについて」及び令和 7 年 3 月 7 日付人企第 32 号「旅費法の一部改正に伴う日本赤十字社の対応について」に基づく暫定措置が準用されること。